

会議概要

令和8年10月22日

件名	第2回 明和地域の義務教育学校「施設整備に係る基本計画」進捗説明会	作成課	教育委員会 管理部 学校整備推進課
日時	令和8年10月10日（土） 18時00分 ～ 18時53分		
場所	明和中学校体育館		
出席者	地域住民、保護者等 21名		
市出席者	教育委員会事務局学校整備推進課長 ほか		
会次第・説明内容	1 明和未来学校プロジェクトー学校を歩いて、未来を見つけようー児童・生徒ワークショップ実施報告について（報告） 8月21日に、明和小・中の児童生徒を対象に実施したワークショップの内容報告 2 施設整備の方向性について A案（当初案）：特別教室棟、普通教室棟を解体し、普通教室棟跡に新棟建設する案に対し、B案（解体する特別教室棟跡に新棟建設する案）に変更を検討しているという提案）と、B案の場合、当初予定の令和12年4月開校が、令和13年4月に延びる可能性がある旨を説明		
主な意見等	〔質疑内容〕 ○統合後は中学校の体育館が避難所になると、収容人数はどうか。 ⇒小学校の体育館とあまり変わらないので収容人数としては大きくは変わらない。義務教育学校ができあがる時には空調もある形での完成を検討している。 ○中学校が運動場は地震の避難場所になっているのはこれまで通りか。 ⇒これまで通り。 ○プールの作る場所が無く民間に委託すると聞いているが。保護者の費用負担は発生するのか。 ⇒プールも建て替えるのに2～3億円と言われており、今後は基本新しいプールは作らずに済むなら作らない方向で考えている。明和小のプールは古く、近くに民間水泳施設があるので授業で指導するのも含めて試行でお願いしている。中学校はしていないが、先週のあり方検討委員会で、明和は小学校・中学校とも歩いて2～3分で民間水泳施設で習えるので大変恵まれており、明和はできれば今後もしそういう形できないかという意見が出た。プールの共用化は民間にお願いできる場所については民間にお願いし、それが難しいところでも一番新しいプールを近隣の小中学校が共同で使うという仕組みをつくっていかうというものである。費用負担については、共用化を市の責任で進めているので、保護者に負担を求めることが無いように進めている。 ○民間水泳施設に決まったわけではないのか。決まったかのように言われているが。 ⇒まだ決まったわけではない。 ○実感としては、明和は人口が減らないのではないかと私自身は思っているが、もし増えたときはどう対応するのか考えているか。 ⇒今の規模で小学校と中学校が一つになると500人くらいの学校になる。明和については、6年後推計によると残念ながら増える傾向にはなっていない。4月の説明会でもお伝えしたが、明和の場合は通学率が他の中学校に比べると低く、推計通りに通わない。教育委員会の見立てとしては難しいと考えている。 ○明和以外で今後統合を検討している学校があるのか。		

⇒市内の小学校が全部で 74 校ある。そのうち学校規模適正化の対象が 30 校ある。鹿児島市の状況も県内、全国平均の状況と実は変わらない。計画ができた場合は、まずは複式学級となっている過小規模校 10 校から優先して検討していくことになると思う 4 割くらいが対象になっていて、そのうち 2 割近くの学校を早めに考えないといけな
いというのが本市の状況である。ちなみに中学校は中学校は市内全体で 35 校あり、そのうち 10 校が 9 学級より少なくなっており、3 割が該当する。

○文部科学省の基準より市の基準が厳しいのか。市が厳しいと聞いたが。市と文部科学省の基準は同じか。

⇒それはない。学級数だけで言うと国も市も同じ考え。基準も同じ。

○経済性は検討のうえで大事だと思うが、前提として安全があつての経済性の話なので、まずは安全性を第一に、我々も無理難題を言っているわけではなく、先々考えると B 案の方がいいとのことなので、コストがかかったり大変なのは分かるが、妥協して作るよりは安全で使いやすい学校をつくって欲しい、頑張ってもらいたいということを要望する。

○子どものことが一番大事。今の現状からどう変わるんだ、どう変わる可能性があるんだいということを子どもたちによく分かるような説明をしてほしいし、保護者だけでなく児童生徒にも説明して欲しい。

⇒今時点で子どもたちへの詳しい説明はまだしていない。子どもたちにも分かってもらってからでないと、というのは大切なご意見なのでいただしておく。

○児童総会とか生徒総会といった場で子どもたちに聞いてほしい。卒業生も関心のあることだし、そのあたりの意見もくみ上げて進めて欲しい。保護者の意見も子どもの意見も両方くみ上げて欲しい。